

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護職員初任者研修講座 I Care Staff Beginner's Training I		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護職員初任者研修ユニット必修)	介護職員初任者研修ユニット履修者のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護職員初任者研修講座Ⅱ～Ⅴ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
大熊 信成	福祉棟3F	火・水・木・金の9時から16時（授業時間を除く）		授業中に指示します
授業の概要				
<p>「介護職員初任者研修講座Ⅰ」では、「職務の理解」「介護における尊厳の保持・支援」「介護の基本」について学習する。在宅におけるケアなどの実践についての知識を習得し、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、サービス提供の基本的視点を理解する。さらに介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることについて学習する。</p>				
授業の目標				
<p>①在宅ケア等における実践について具体的なイメージを実感でき、説明できるようにする。 ②介護職が利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、サービスを提供するにあたっての基本的視点を理解し、説明することができるようにする。 ③介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解し説明することようにする。 ④介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉え、それらを説明できるようにする。</p>				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、必要に応じてグループ討議などの演習方式を取り入れる。実践的能力の習得を図る授業とする。				
学習の成果（学習成果）				
<p>①介護の目標や展開について、自立支援の考え方を取り入れて概説することができる。 ②介護の専門性及び基本的なサービスの特性について列挙し、説明できる。 ③生活支援の場における典型的な事故や感染などの主要なリスクを列挙し、説明できる。</p>				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業のねらいと進め方・成績評価の方法・授業中の留意点など） 職務の理解① 介護保険サービス、介護保険外サービス			
第2回目	職務の理解② 介護職の仕事内容や現場の理解			
第3回目	職務の理解③ 居宅、施設のサービス提供について			
第4回目	職務の理解④ チームアプローチ、他職種との連携			
第5回目	介護における尊厳の保持・自立支援① 尊厳とは、アドボカシーについて			
第6回目	介護における尊厳の保持・自立支援② ICFの視点について、QOLとは何か レポート「ICFの視点に沿った支援とは」※提出は第7回目の授業日			

第7回目	介護における尊厳の保持・自立支援③ ノーマライゼーションとは何か	
第8回目	介護における尊厳の保持・自立支援④ 虐待防止・身体拘束禁止について、高齢者虐待防止法	
第9回目	介護における尊厳の保持・自立支援⑤ 個人の権利を守る制度の概要 「縛られない老後について」	
第10回目	介護における尊厳の保持・自立支援⑥ 自立に向けた介護	
第11回目	介護の基本① 介護職の役割、専門性、他職種との理解・連携	
第12回目	介護の基本② 介護職の職業倫理	
第13回目	介護の基本③ 介護職における安全の確保とリスクマネジメント	
第14回目	介護の基本④ 介護職の安全について	
第15回目	福祉における人権とアドボカシー 授業のまとめ	
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。またわからないところは、科目担当者に質問に行くこと。常に分析をする視点を持つこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。
レポート	20%	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。最高評価であるSは意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。
調査報告書		
小テスト	10%	第8回目の授業において小テストを行う。またほぼ毎回の授業でリアクションペーパーを行う。このことにより学びの振り返りができる。求められたテーマについて自分の考えが明確に示されていること。
試験	60%	論述、記述式の試験を行い評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
テキスト：『介護職員初任者研修テキスト全2巻』（中央法規出版）		
履修上の留意点・ルール		
<p>●実務経験（職種：児童指導員・生活指導員（障害児・者に係わる業務） 職歴：通算6年） 介護職員初任者研修修了証取得のために出席は必須。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。</p>		